

# かべ　あな　だい　よん　わ 壁の穴、第四話



「クミコ～、お仏壇のお水とご飯を交換してちょうだい」  
と、またクミコの母ちゃんの声がした。クミコは不機嫌そ  
うに、「ちょっと待ってよー。あと、少しだけ～」と言って、  
座布団の上でゴロゴロしていた。

クミコの家では、仏様に、毎朝、お水とご飯をお供えして  
いた。それを交換するのは、クミコの仕事だった。そう、  
このお供え物の炊きたてのご飯が、モチモチしていて、  
最高においしいんだ。仏様には申し訳ないと思っている  
よ。でも、僕達家族は、毎朝、それをちょっとだけもらって  
食べるのを、楽しみにしていた。

仏様には、昨日からおまんじゅうがお供えしてあった。し  
かし、僕達は、目立つ物は盗んではいけないと教えられ

ていた。僕達ぼくたちが盗ぬすんだことが、人間にんげんにバレてはいけ  
ないからだ。ご飯はんは、家族かぞく4匹ひきで食たべられる量りょうだけだけをもらう  
んだ。でも、ご飯はんが大盛りおおもの日は、少しひだけ多めすこにもらっ  
ても良よかった。

## Vokabular

### Bitno

交換

*imenica, suru-glagol*

- zamjena, razmjena

こうかん

盗む

*glagol (五)*

- ukrasti

ぬすむ

不機嫌

*imenica, na-pridjev*

- nezadovoljstvo

ふきげん

量

*imenica*

- količina

りょう

炊きたて

*no-pridjev*

- svježe skuhan

たきたて

大盛り

*imenica*

- velika porcija

おおもり

最高

*imenica, no-pridjev, na-pridjev*

- najbolji

さいこう

多め

*imenica, no-pridjev, na-pridjev*

- povrh, još i više (količinski)

おおめ

申し訳ない

*fraza, i-pridjev*

- ispričavam se

もうしわけない

### Ostalo

仏壇

*imenica*

- Budistički oltar (kućni)

ぶつだん

ご飯

*imenica*

- objed, kuhana riža

ごはん

水

*imenica*

- voda

みず

母ちゃん

*imenica*

- mama

かあちゃん

待つ <i>glagol (五)</i> • čekati	まつ	仕事 <i>imenica</i> • posao	しごと
少し <i>imenica, prijedlog</i> • malo (količinski)	すこし	物 <i>imenica</i> • stvar	もの
言う <i>glagol (五)</i> • reći	いう	思う <i>glagol (五)</i> • misliti	おもう
座布団 <i>imenica</i> • jastuk	ざぶとん	僕達 <i>zamjenica</i> • mi	ぼくたち
上 <i>imenica, no-pridjev, prilog</i> • iznad	うえ	家族 <i>imenica</i> • obitelj	かぞく
家 <i>imenica</i> • kuća	いえ	食べる <i>glagol (一)</i> • jesti	たべる
仏様 <i>imenica</i> • Buda	ほとけさま	楽しみにする <i>suru-glagol</i> • veseliti se	たのしみにする
毎朝 <i>imenica, prilog</i> • svako jutro	まいあさ	昨日 <i>imenica</i> • jučer	きのう
供える <sup>1</sup> <i>glagol (一)</i> • ponuditi	そなえる	目立つ <i>glagol (五)</i> • isticati se, odstupati	めだつ

教える  
*glagol (一)*

- poučavati, reći

おしえる

日  
*imenica*

- dan

ひ

人間  
*imenica*

- čovjek

にんげん

良い  
*i-pridjev*

- dobro

よい

4匹  
*brojač*

- 4 male životinje

よんひき

---

<sup>1</sup>U tekstu ovaj glagol čudno izgleda zato što je stavljen u svoju pristojniju verziju koja je dio keiga i tvori se tako da se ispred korijena glagola stavi お ili ご, a iza se stavi glagol する u odgovarajućem obliku.

## Domaća zadaća

1. Napišite kratku priču ili par rečenica koristeći riječi iz kutije ispod. Rečenice ili tekst ne moraju nužno biti vezane uz sam tekst.

交換 ・ 不機嫌 ・ 最高 ・ 盗む ・ 多め

---

---

---

---

---

---

---

2. Odgovorite na pitanja:

(i) クミコの家<sup>いえ</sup>で毎日何<sup>まいにち</sup>をしているのですか？

---

---

(ii) クミコの仕事<sup>しごと</sup>は何<sup>なん</sup>ですか？

---

---

(iii) 家族<sup>かぞく</sup>は何<sup>たの</sup>を楽しみにしていました？

---

---

(iv) 語り手<sup>かた</sup>は何<sup>て</sup>の食べ物<sup>なん</sup>を盗<sup>た</sup>んではいけ<sup>もの</sup>ないのですか？なぜ<sup>ぬす</sup>ですか？

---

(v) 家族<sup>かぞく</sup>はどのくらいご飯<sup>はんめす</sup>を盗<sup>ぬす</sup>むのですか？

(vi) いつも同じ量<sup>おなじりょう</sup>を盗<sup>ぬす</sup>むのですか？

3. Nadopunite sljedeće rečenice riječima iz kutije ispod:

交換した ・ 不機嫌 ・ 炊きたて ・ 最高 ・ 申し訳ない  
盗まれた | 盗む ・ 大量 ・ 大盛り ・ 多め

(i) \_\_\_\_\_のプレゼントを用意<sup>ようい</sup>するから楽し<sup>たの</sup>みにしてて。

(ii) 花子<sup>はなご</sup>ちゃんは今日<sup>きょう</sup>\_\_\_\_\_だから武君<sup>たけしくん</sup>がぼこぼこにされた。

(iii) ほかほかの\_\_\_\_\_ご飯<sup>はんめす</sup>が食<sup>た</sup>べたい。

(iv) 私は古新聞<sup>わたくしこしんぶん</sup>をちり紙<sup>がみ</sup>と\_\_\_\_\_。

(v) お茶の葉<sup>ちや</sup>はもう少し\_\_\_\_\_に入<sup>はい</sup>れたほうが美味<sup>おい</sup>しいですよ。

(vi) \_\_\_\_\_けど今あの子は出<sup>で</sup>かけているの。

(vii) 鈴木<sup>すずき</sup>さんは下着<sup>したぎ</sup>を\_\_\_\_\_変態<sup>へんたい</sup>が大嫌<sup>だいきら</sup>いだ、それは小さいころ下着<sup>ちいしたぎ</sup>を  
たくさん\_\_\_\_\_から。

(viii) 警察<sup>けいさつ</sup>は学校<sup>がっこう</sup>で\_\_\_\_\_の薬物<sup>やくぶつ</sup>を押収<sup>おうしゅう</sup>した。

(ix) この\_\_\_\_\_のラーメンは量<sup>りょう</sup>が多<sup>おほ</sup>すぎて、食<sup>た</sup>べきれない。